

令和7年度北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査事業 報告書【概要版】

経済効果暫定推計版



2026（令和8）年3月 公益社団法人 北海道観光機構

- ①国内観光客(道内・道外客)及び外国人観光客の観光の概要や本道観光への期待・満足度を把握
- ②旅行予算を把握し、観光がもたらす地域経済への波及効果を推計

- ①調査地点 全道79市町村で、104か所(延べ106か所:冬季のみ地点変更2か所)の観光スポット、空港など
- ②調査方法 調査員を配置し、来訪者に自記入法で回答を依頼 ※WEB上でも回答可能
- ③調査時期 4期に分けて実施 (下表参照)
- ④調査規模 業務指示数/合計4,000件 (①道内客 1,000件、②道外客 1,000件、③外国人客 2,000件)
 実際集計数/合計4,566件 (①道内客 1,144件、②道外客 1,173件、③外国人客 2,191件)

■ 期別調査実施状況

| 期 | 実施時期 | 季節 | 区分 | 目標数 | 回収数 | 達成率 | 備考 |
|------|-------------|----|-----|-------|-------|--------|--|
| 第1期 | 7/7~7/31 | 初夏 | 道内客 | 275 | 302 | 109.8% | |
| | | | 道外客 | 275 | 371 | 134.9% | |
| | | | 外国人 | 504 | 516 | 102.4% | |
| | | | 合計 | 1,054 | 1,218 | 115.6% | |
| 第2期 | 8/18~9/30 | 初秋 | 道内客 | 341 | 322 | 94.4% | |
| | | | 道外客 | 341 | 360 | 105.6% | |
| | | | 外国人 | 600 | 624 | 104.0% | |
| | | | 合計 | 1,282 | 1,300 | 101.4% | |
| 第3期 | 11/10~11/30 | 初冬 | 道内客 | 260 | 279 | 107.3% | |
| | | | 道外客 | 260 | 228 | 87.7% | |
| | | | 外国人 | 521 | 576 | 110.6% | |
| | | | 合計 | 1,041 | 1,118 | 107.4% | |
| 第4期 | 12/19~2/15 | 冬季 | 道内客 | 224 | 241 | 107.6% | 一部、さっぽろ雪まつり期間を含めた 1月下旬~2月上旬の豪雪により 実査期間延長 |
| | | | 道外客 | 224 | 214 | 95.5% | |
| | | | 外国人 | 475 | 475 | 100.0% | |
| | | | 合計 | 923 | 930 | 100.8% | |
| 年間総計 | | | 道内客 | 1,100 | 1,144 | 104.0% | |
| | | | 道外客 | 1,100 | 1,173 | 106.6% | |
| | | | 外国人 | 2,100 | 2,191 | 104.3% | |
| | | | 合計 | 4,300 | 4,566 | 106.2% | |

- ⑤調査内容 □ 旅行者プロフィール/旅行内容(目的、同伴者など)/観光行動/旅行費用/旅行ニーズ・その他、今後の旅行ニーズ(関心ある旅のスタイル、北海道で行いたい活動など)、「物価高騰・円安」の影響など

- ①観光経済効果を推計する際に用いる(「道民・その他の旅行」需要)ため、道民の道外・海外旅行の実態調査を行った。
- ②調査は、令和7年11月下旬~12月上旬にかけて、全道の18歳以上の男女1,000人を対象に、インターネット調査で行なわれた。

(1)回答者プロフィール

| | 道内客 | 道外客 | 外国人 |
|-------|---|--|---|
| ①性別 | <ul style="list-style-type: none"> 6割近くは男性（55%）。 | <ul style="list-style-type: none"> 6割は男性（60%）。 | <ul style="list-style-type: none"> 男性（53%）がやや多い。 |
| ②年代 | <ul style="list-style-type: none"> 最多は50代（26%）で、40代（19%）、10・20代（17%）が次ぐ。 | <ul style="list-style-type: none"> 最多は50代（23%）で、60代（21%）10・20代（18%）、が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> 最多は30代（30%）で、10・20代（28%）で、も拮抗する。 |
| ③居住地域 | <ul style="list-style-type: none"> 6割以上は道央圏（65%） | <ul style="list-style-type: none"> 半数は関東（54%）で、関西（13%）、東北（10%）、中部（9%）が次ぐ。 | <ul style="list-style-type: none"> 台湾（12%）と北米（11%）、韓国（11%）が拮抗する。 ※今度はタイ、欧米豪を増やすなど割付している。 |
| ④職業 | <ul style="list-style-type: none"> 半数が会社員等（47%）で、パート等（12%）が次ぐ。 | <ul style="list-style-type: none"> 会社員等（49%）が最多で、無職（11%）、家事専業（8%）も多い。 | <ul style="list-style-type: none"> 会社員等（40%）が最多で、自営・自由業（14%）の多いのが特徴。 |
| ⑤世帯年収 | <ul style="list-style-type: none"> 401～600万円（22%）が最多で、300～400万円（16%）が次ぐ。 1001万円超は5% | <ul style="list-style-type: none"> 401～600万円（20%）が最多で、601～800万円（15%）が次ぐ。 1001万円超は10%で道内客の2倍以上。 | <ul style="list-style-type: none"> US\$10万超（22%）で最多で昨年より増加。US\$2万以下（14%）が次ぐ。 US\$10万超は米国・カナダで24%。 |

(2)今回の旅行について

| | 道内客 | 道外客 | 外国人 |
|------------------|---|--|---|
| ①旅行の契機 | <ul style="list-style-type: none"> 休みが取れた（38%）が最多。 | <ul style="list-style-type: none"> 休みが取れた（36%）が最多。 | <ul style="list-style-type: none"> 日本食など日本文化が話題なので（64%）が最多で、円安（18%）が次ぐ。 |
| ②同行者 ・人数 | <ul style="list-style-type: none"> 夫婦・パートナー（37%）が最多で、1人旅（21%）も2割ある。 半数は2人連れ（53%）。平均2.4人で昨年より微増。 | <ul style="list-style-type: none"> 夫婦・パートナー（30%）が最多、1人旅（28%）は道内客より多い。 半数は2人連れ（45%）。平均2.4人で昨年と同じ | <ul style="list-style-type: none"> 夫婦・パートナー（27%）が最多で、友人・知人（24%）が次ぐ。家族連れ（計35%）は1/3。1人旅（13%）。 4割は2人連れ（42%）で平均3.4人で昨年（3.5人）から微減 |
| ③日程 (全旅行・道内分) | <p>【全旅行日程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日帰（54%）が最多。 <p>【道内分】</p> <ul style="list-style-type: none"> 半数は日帰（54%）で、宿泊は計46%。 平均宿泊数は1.9泊（昨年と同じ） | <p>【全旅行日程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2泊（34%）が最多で、5泊以上（29%）。 平均宿泊数は5.4泊。 <p>【道内分】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日帰（1%）は僅少。2泊(35%)、5泊以上（27%）。 平均宿泊数は5.0泊で、前年（5.1泊）より微減 | <p>【全旅行日程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 8割近くは5泊以上（75%） 平均宿泊数は9.9泊。 <p>【道内宿泊数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6割超は5泊以上（62%）、4泊（18%）が次ぐ。 平均宿泊数は6.3泊で昨年（7.0泊）より減少。 |

(2) 今回の旅行について

| | 道内客 | 道外客 | 外国人 |
|------------------|---|---|---|
| ④ 旅行の参考情報 | <ul style="list-style-type: none"> 半数は“特にない” (48%)。 家族・友人等の口コミ (15%)、旅行予約サイト (13%) が主。 【最大情報】 上記同様に半数は“特にない” (35%)。 具体的情報は家族・友人等の口コミ (12%) が最多。 【SNS等の活用】 Instagram (31%)、YouTube (30%)、Google map (28%) の順 利用者 (全体から“特にない・無回答”の回答割合を除いた) 割合は72%。 | <ul style="list-style-type: none"> 半数は“特にない” (19%)。 旅行予約サイト/Expedia等 (26%)、動画サイト (22%)、家族・友人等の口コミ (18%) の順。 【最大情報】 旅行予約サイト (17%)、動画サイト (12%) の順。 【SNS等の活用】 YouTube (34%) で最大。以下、Google map (31%)、Instagram (27%) と続く。 利用者割合は72%で、道内客と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> 動画サイト (34%)、旅行予約サイト (32%) が拮抗し、旅行会社WEBサイト (24%) が次ぐ。 【最大情報】 動画サイト (16%)、旅行会社WEBサイト (15%)、旅行予約サイト/Expedia等 (12%) の順。 【SNS等活用】 Google map (40%) が最大で、YouTube (38%)、Instagram (31%)、Facebook (25%) が次ぐ。 利用者割合は92%で、ほとんどが利用。 |
| ⑤ 旅行申込・手配の方法 | <ul style="list-style-type: none"> 7割は事前手配はしていない (69%)。個人で直接手配 (30%)。 【直接手配の方法】 6割がOTA (57%)。 | <ul style="list-style-type: none"> 個人で直接手配 (82%)。 【直接手配の方法】 OTA (45%)、航空・鉄道などの予約サイト (42%) が主。 | <ul style="list-style-type: none"> 個人で直接手配 (83%)。 【直接手配の方法】 航空・鉄道などの予約サイト (46%)、ホテル等の予約サイト (31%)、OTA (30%) が主な方法。 |
| ⑥ 来道交通 ・ 来道起点 | — | <ul style="list-style-type: none"> 【来道起点】 新千歳空港 (往復とも40%程度) が最多。地方空港は函館 (往復とも11%程度)、旭川空港 (往復3%程度) 新函館北斗駅 (往復とも5%弱) も一定程度ある。 | <ul style="list-style-type: none"> 【来道起点】 新千歳空港 (往復とも90%台)。 地方空港は往復とも函館空港 (往復とも4~5%前後) が最多。 新函館北斗駅 (往路3%、復路2%) も一定程度ある |
| ⑦ 来道経験 | — | <ul style="list-style-type: none"> 初めて (16%)、リピーターが8割程度。 平均来道経験数 7.4回。 | <ul style="list-style-type: none"> 初めて (64%)、リピーターが32%。 平均来道経験数 1.7回。 |

(3) 観光・旅行費用について

| | 道内客 | 道外客 | 外国人 |
|-----------|---|---|---|
| ① 1人あたり予算 | <ul style="list-style-type: none"> 1万円以下 (42%) が最多で、これに1.1~3万円以下 (23%) が次ぐ。 平均21,507円 (昨年20,638円) | <ul style="list-style-type: none"> 8.1万円~10万円以下 (26%) が最多で、3.1~5万円以下 (16%)。 20万円超 (7%) は1割弱。 平均118,400円 (昨年124,323円) | <ul style="list-style-type: none"> 20万円超 (26%) が最多で、15.1万円~20万円以下 (18%) が次ぐ。 平均23,860円 (昨年222,176円) |

(3) 観光・旅行費用について

| | 道内客 | 道外客 | 外国人 |
|--|---|--|--|
| ②パッケージツアー利用 | <ul style="list-style-type: none"> パッケージ利用率1%。 | <ul style="list-style-type: none"> パッケージ利用率10%。 パッケージ利用者の平均額104,115円(昨年87,535円) | <ul style="list-style-type: none"> パッケージ利用率9%。 パッケージ利用者の平均額200,554円(昨年244,431円) |
| ③道内消費額 (平均額は支出ゼロも含む) ※経済波及効果投入用 数値とは異なる | <ul style="list-style-type: none"> 消費額総計は19,921円で昨年(19,601円)とほぼ変わらない。 交通費 4,618円(昨年5,295円) 宿泊費 6,888円(昨年6,289円) 飲食費 4,764円(昨年4,245円) 買物代 2,991円(昨年2,973円) 娯楽費等 634円(昨年792円) 前年より大きな増減なし。 | <ul style="list-style-type: none"> 消費額総計は90,738円で昨年(86,444円)より4千円ほど増。 交通費 18,513円(昨年20,107円) 宿泊費 30,432円(昨年25,103円) 飲食費 23,733円(昨年20,828円) 買物代 13,041円(昨年14,825円) 娯楽費等 4,731円(昨年5,159円) 前年より宿泊費が5千円、飲食が3千円などが増加。 娯楽サービス等は道内客の7倍近く。 | <ul style="list-style-type: none"> 消費額総計は153,925円で昨年(166,556円)より1万円程度の減。 交通費 27,204円(昨年28,070円) 宿泊費 54,373円(昨年63,577円) 飲食費 36,145円(昨年38,220円) 買物代 23,969円(昨年27,924円) 娯楽費等費 11,357円(昨年8,089円) 昨年よりいずれも減少し、特に宿泊費が1万円近く、買い物も4千円ほど減少。 |

(4) 観光行動

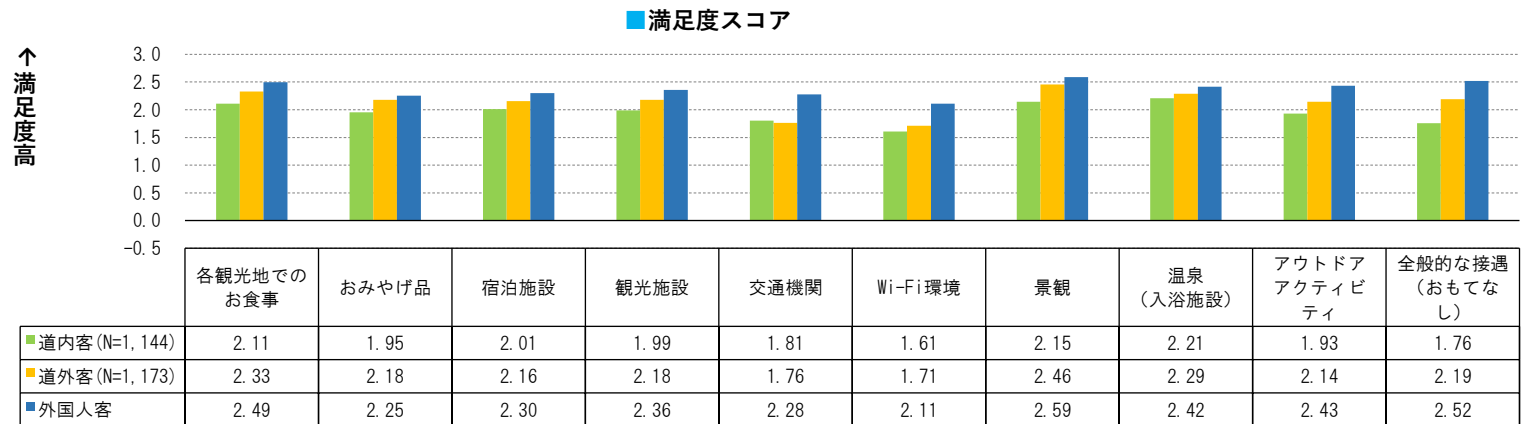
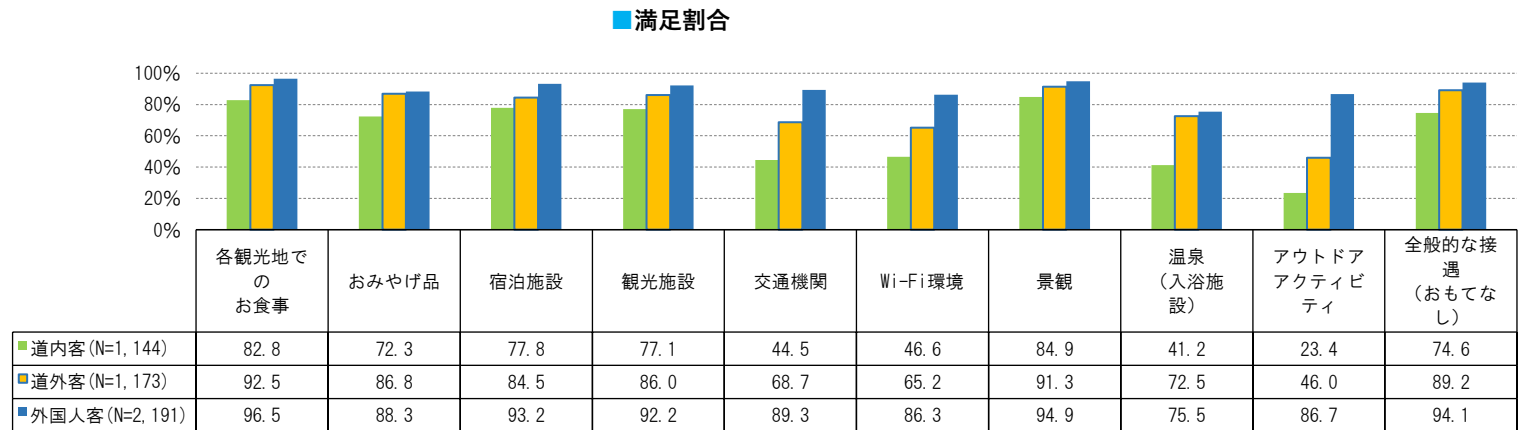
| | 道内客 | 道外客 | 外国人 |
|-----------|---|---|--|
| ①旅行先選択理由 | <ul style="list-style-type: none"> 自然・風景(43%)が最大で、食べ物(36%)、温泉(18%)、のんびり過ごせる(17%)が次ぐ。 【最大理由】 自然・風景(20%)が最大で、食べ物(16%)、行きたい観光地・イベントがあった(11%)が次ぐ。 | <ul style="list-style-type: none"> 自然・風景(61%)が最大で、食べ物(51%)、行きたい観光地・イベント(24%)が次ぐ。 【最大理由】 自然・風景(28%)が最大で、食べ物(18%)、行きたい観光地・イベント(15%)が次ぐ。 | <ul style="list-style-type: none"> 自然・風景(76%)が最大で、食べ物(39%)、のんびり過ごせる(29%)、見どころが多い(27%)、温泉(21%)が次ぐ。 アウトドア(18%)は昨年並み。 【最大理由】 自然・風景(40%)が最大で、食べ物(11%)、のんびり過ごせる(6%)が次ぐ。傾向は昨年とほぼ同じ。 |
| ②道内での利用交通 | <ul style="list-style-type: none"> 8割が自家用車(82%)利用。 | <ul style="list-style-type: none"> 鉄道(33%)、(キャンピングカー除く)レンタカー(33%)が主。 キャンピングカーを含む自家用車(計20%)が2割に増大。 | <ul style="list-style-type: none"> 鉄道(66%)、路線バス(35%)、観光バス(26%) キャンピングカーを含むレンタカー(20%)も2割ある。 |

(4) 観光行動

| | 道内客 | 道外客 | 外国人 |
|-----------------|---|---|---|
| ③ 宿泊施設 | <p>【宿泊者のみの数値】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光ホテル旅館（45%）が最多で、都市型ホテル・ビジネスホテル（30%）が次ぐ。 | <p>【宿泊者のみの数値】</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市型ホテル・ビジネスホテル（47%）が最多で、観光ホテル旅館（46%）が次ぐ。 | <p>【宿泊者のみの数値】</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市型ホテル・ビジネスホテル（68%）が最多で、観光ホテル旅館（38%）が次ぐ。 民泊（8%）は昨年（11%）より微減。 |
| ④ 旅行中の行動 | <ul style="list-style-type: none"> 道の駅めぐり（37%）、食を楽しむ（36%）、ドライブ（31%）の順。 その他、温泉（27%）、自然・景勝地観光・四季の体感（30%）が次ぐ。 | <ul style="list-style-type: none"> 食を楽しむ（63%）が最多で、自然・景勝地観光・四季の体感（54%）、温泉（36%）、ショッピング／特産品（24%）の順となる。 アウトドアアクティビティ（8%）で昨年（10%）より僅かに減少。 | <ul style="list-style-type: none"> 自然・景勝地観光・四季の体感（55%）が最多で、街歩き（54%）、食を楽しむ（46%）、ショッピング／特産品（43%）、温泉（36%）の順。 アウトドアアクティビティ系（計32%）は昨年（計37%）より僅かに減少。 |
| ⑤ 立寄り地 ・ 宿泊地 | <ul style="list-style-type: none"> 札幌／丘珠空港含む（60%）が最多で、帯広・十勝川（15%）、旭川／旭川空港含む（15%）、函館（14%）が次ぐ。 <p>【宿泊地】 ※札幌、函館、釧路、旭川などは空港を含むが宿泊地であるため表記を略</p> <ul style="list-style-type: none"> 函館（15%）、洞爺湖（10%）、帯広・十勝川（9%）などの順。 | <ul style="list-style-type: none"> 千歳／新千歳空港含む（69%）、札幌／丘珠空港含む（58%）、函館／函館空港含む（39%）、小樽（30%）などが次ぐ。 <p>【宿泊地】 ※左記と同</p> <ul style="list-style-type: none"> 札幌（48%）が最多で、函館（30%）、帯広（16%）が次ぐ | <ul style="list-style-type: none"> 札幌／丘珠空港含む（112%）が最多で、千歳／新千歳空港含む（73%）、小樽（56%）、富良野・美瑛（27%）、函館／函館空港含む（21%）などが次ぐ。 <p>【宿泊地】 ※左記と同</p> <ul style="list-style-type: none"> 札幌（105%）が最多で、小樽（26%）、函館（20%）、富良野・美瑛（16%）、洞爺湖・旭川（共に15%）が次ぐ |

(5) 観光・旅行の評価などについて

| | 道内客 | 道外客 | 外国人 |
|---|---|--|--|
| ①満足度 <small>(ここでは、とても満足=+3点~どちらでもない=±0点~とても不満=-3点を与えて算出したスコア(加重平均)を用いている)</small> | <ul style="list-style-type: none"> 個別分野での満足割合は①景観(85%)、②食事(83%)、③景観(70%)、③宿泊施設(78%)、④観光施設(77%)の順で大きい。 総合的満足割合 92%。 満足度スコア2.17(昨年1.88) 満足に近いレベル | <ul style="list-style-type: none"> 個別分野での満足割合は①食事(93%)、②景観(91%)、③おみやげ(87%)、④観光施設(86%)の順。 総合的満足割合 95%。 満足度スコア 2.46(昨年2.12) = (かなり満足に近いレベル) | <ul style="list-style-type: none"> 個別分野での満足割合は①食事(97%)、②景観(95%)、③おもてなし(94%)、④宿泊施設(93%)の順。 総合的満足割合 97% 満足度スコア 2.58(昨年2.44) (かなり満足に近いレベル)。 |



(5) 観光・旅行の評価などについて

| | 道内客 | 道外客 | 外国人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------------|----------|-------|------|------|---------|---------|----------|--------------|---------------|---------------|-------|---|----|---|------------|---|-----------|----|------------|----|----|----|-------|
| ②満足度スコアの推移 (ここでは、とても満足=+3点~どちらでもない=±0点~とても不満=-3点を与えて算出したスコア(加重平均)を用いている) | 道内客 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | (スコア) | サンプル数 | 各観光地での食事 | おみやげ品 | 宿泊施設 | 観光施設 | 交通機関 | Wi-Fi環境 | 景観 | 温泉(入浴施設) | アウトドアアクティビティ | 一般的な接客(おもてなし) | | | | | | | | | | | | | |
| | 2023年度 | 1,638 | 1.72 | 1.44 | 1.69 | 1.49 | 1.17 | 1.05 | 1.68 | 1.60 | 1.22 | 1.34 | | | | | | | | | | | | | |
| | 2024年度 | 1,104 | 1.83 | 1.54 | 1.74 | 1.52 | 1.22 | 1.09 | 1.76 | 1.67 | 1.33 | 1.46 | | | | | | | | | | | | | |
| | 2025年度 | 1,144 | 2.11 | 1.95 | 2.01 | 1.99 | 1.81 | 1.61 | 2.15 | 2.21 | 1.93 | 1.76 | | | | | | | | | | | | | |
| | 増減 | — | 0.28 | 0.41 | 0.27 | 0.46 | 0.58 | 0.52 | 0.38 | 0.54 | 0.60 | 0.30 | | | | | | | | | | | | | |
| | 道外客 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | (スコア) | サンプル数 | 各観光地での食事 | おみやげ品 | 宿泊施設 | 観光施設 | 交通機関 | Wi-Fi環境 | 景観 | 温泉(入浴施設) | アウトドアアクティビティ | 一般的な接客(おもてなし) | | | | | | | | | | | | | |
| | 2023年度 | 1,713 | 2.11 | 1.85 | 1.86 | 1.86 | 1.50 | 1.34 | 2.11 | 1.84 | 1.55 | 1.75 | | | | | | | | | | | | | |
| | 2024年度 | 1,383 | 2.07 | 1.85 | 1.80 | 1.83 | 1.41 | 1.34 | 2.10 | 1.84 | 1.63 | 1.78 | | | | | | | | | | | | | |
| 2025年度 | 1,173 | 2.33 | 2.18 | 2.16 | 2.18 | 1.76 | 1.71 | 2.46 | 2.29 | 2.14 | 2.19 | | | | | | | | | | | | | | |
| 増減 | — | 0.26 | 0.32 | 0.35 | 0.35 | 0.35 | 0.37 | 0.36 | 0.45 | 0.51 | 0.41 | | | | | | | | | | | | | | |
| 外国人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (スコア) | サンプル数 | 各観光地での食事 | おみやげ品 | 宿泊施設 | 観光施設 | 交通機関 | Wi-Fi環境 | 景観 | 温泉(入浴施設) | アウトドアアクティビティ | 一般的な接客(おもてなし) | | | | | | | | | | | | | | |
| 23年度 | 1,178 | 2.40 | 2.21 | 2.28 | 2.35 | 2.18 | 1.96 | 2.50 | 2.30 | 2.32 | 2.44 | | | | | | | | | | | | | | |
| 24年度 | 2,193 | 2.40 | 2.16 | 2.21 | 2.26 | 2.18 | 2.04 | 2.42 | 2.17 | 2.22 | 2.38 | | | | | | | | | | | | | | |
| 25年度 | 2,191 | 2.49 | 2.25 | 2.30 | 2.36 | 2.28 | 2.11 | 2.59 | 2.42 | 2.43 | 2.52 | | | | | | | | | | | | | | |
| 増減 | — | 0.09 | 0.09 | 0.09 | 0.10 | 0.10 | 0.07 | 0.17 | 0.24 | 0.21 | 0.14 | | | | | | | | | | | | | | |
| ③総合満足度 | <ul style="list-style-type: none"> 総合満足度は割合・スコアとも上昇を続けている。満足度割合は道内客でも90%台に乗った。 満足度スコアは道内外客、外国人とも2.00=満足のレベルを超える高さとなった。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr><td>3</td><td>とても満足</td></tr> <tr><td>2</td><td>満足</td></tr> <tr><td>1</td><td>どちらかと言えば満足</td></tr> <tr><td>0</td><td>どちらとも言えない</td></tr> <tr><td>-1</td><td>どちらかと言えば不満</td></tr> <tr><td>-2</td><td>不満</td></tr> <tr><td>-3</td><td>とても不満</td></tr> </table> | | | | | | | | | | | 3 | とても満足 | 2 | 満足 | 1 | どちらかと言えば満足 | 0 | どちらとも言えない | -1 | どちらかと言えば不満 | -2 | 不満 | -3 | とても不満 |
| | 3 | とても満足 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2 | 満足 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 | どちらかと言えば満足 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 0 | どちらとも言えない | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | -1 | どちらかと言えば不満 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | -2 | 不満 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | -3 | とても不満 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ■ 総合満足割合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 90% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 80% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 70% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 60% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 50% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 道内客 | 道外客 | 外国人客 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■ 23年度 | 76.0 | 90.0 | 87.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■ 24年度 | 80.3 | 88.0 | 88.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■ 25年度 | 92.0 | 95.2 | 97.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■ 総合満足度スコア | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ↑ 満足度高 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2.50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1.50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0.50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 道内客 | 道外客 | 外国人客 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■ 23年度 | 1.79 | 2.21 | 2.47 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■ 24年度 | 1.88 | 2.12 | 2.44 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■ 25年度 | 2.17 | 2.46 | 2.58 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(6) その他

| | 道内容 | 道外客 | 外国人 |
|------------------------------------|---|--|---|
| ① 関心ある キーワード AT=アドベンチャー・トラベル | <ul style="list-style-type: none"> 車で寝泊まりしながらの気ままな旅(26%)が最多で、AT(21%)、ワイン・酒蔵ツーリズム(19%)が次ぐ。 | <ul style="list-style-type: none"> AT(25%)が最多で、車で寝泊まりしながらの気ままな旅(22%)、ワイン・酒蔵ツーリズム(18%)が次ぐ。 | <ul style="list-style-type: none"> AT(45%)が最多で、サステナブルツーリズム(31%)が次ぐ。 その他では、フォトツーリズム(23%)、ワイン・酒蔵ツーリズム(19%)の順で続く。 |
| ② 今後、北海道で楽しみたい・関心興味ある | <ul style="list-style-type: none"> 温泉(59%)が最大で、これに旬の食材を堪能する(31%)、トレッキング・山登り(19%)、ワイナリー・酒蔵(18%)が次ぐ。 | <ul style="list-style-type: none"> 温泉(57%)が最大で、旬の食材を堪能(42%)、北海道の郷土料理(26%)、トレッキング・山登り(23%)の順で次ぐ。 | <ul style="list-style-type: none"> 温泉(46%)が最大だが、トレッキング・山登り(44%)、旬の食材を堪能(44%)も拮抗。 その他は、北海道の郷土料理(40%)、ウィンタースポーツ(38%)が次ぐ。 |
| ③ 物価上昇などの影響 | <ul style="list-style-type: none"> 物価上昇を感じる分野では、飲食代(60%)が最大で、ガソリン代(53%)、宿泊料金(39%)などが主要分野である。 対策としては、行き先を近くに替えた(11%)、宿泊をやめて日帰りにした・車を利用して交通費削減・お土産代削減(各10%)などが主である。 | <ul style="list-style-type: none"> 物価上昇を感じる分野では、飲食代(57%)が最大で、宿泊料金(43%)、ガソリン代(33%)などが主要分野である。 対策としては、宿泊先のグレードを下げた(16%)、お土産を減らした(11%)、宿泊日数を減らした(10%)などが主である。 | <ul style="list-style-type: none"> 円安を実感する分野としては、飲食代(53%)と航空運賃(30%)、宿泊代(28%)など。 円安のメリットを活かした分野では、周遊範囲の拡大・飲食のグレードUP・お土産購入を増やした(各38%)が主。 |
| ④ オーバーツーリズム | <p>【自分の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴミを出さない・持ち帰る(67%)が最多で、大声を出さない(50%)、私有地に入らない(46%)などが主なものである。 野生動物に餌をあげない(44%)も多い。 | <p>【自分の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴミを出さない・持ち帰る(60%)が最多で、大声を出さない(53%)、私有地に入らない(47%)などが主なものである。 野生動物に餌をあげない(43%)も多い。 | <p>【観光者意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元生活者への配慮が必要(53%)で、観光地はそれで潤うのだからやむを得ない(22%)を大きく上回る。 <p>【自分の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大声を出さない(77%)が最大で、ゴミを出さない・持ち帰る(63%)、私有地に入らない(61%)などが次ぐ。 野生動物に餌をあげない、植物を踏まない折らない(共に42%)も多い。 |
| ⑤ 今後北海道内で利用したい交通 | — | <ul style="list-style-type: none"> レンタカー(33%)、鉄道(29%)、路線バス(15%)が多い。 マイカー(15%)も1割以上に達した。 | <ul style="list-style-type: none"> 鉄道(56%)、路線バス(35%)が多い。 ¼はレンタカー(25%)を挙げた。 |

(7)付帯調査 道民の道外・海外旅行動向調査

①調査目的

観光消費に伴う経済効果の推計において、従来より「道民が道外や海外旅行を行うことに伴い、道内で消費される分野」も含めて捉えてきた。これが、経済効果推計の際の「道内容・その他」である。その定量的把握は平成29年度（2017年度／調査は2016年に実施されている）「北海道観光産業経済効果調査」以来、8年間行われていない。このため、以後は同調査の結果を基準に景気動向などを参考に「道内容・その他」の旅行人数、消費額として用いられてきた。これをふまえ、改めて道民の道外旅行、海外旅行の最新動向を把握するものとして実施された。

②実施概要

- ①調査対象／道内に居住する18歳以上の男女
- ②調査地域・件数／全道で1,000人（各圏域の人口を加味し、分析可能な数を確保するための地域別割付を行った。）
- ③調査方法／インターネット調査（株式会社クロスマーケティング社のWeb調査システムQiQUMO（キクモ）及び、(株)北日本調査社のWebモニターを用いた）
- ④調査内容／道外旅行、海外旅行の有無、回数、道外旅行、海外旅行の目的、行先、道外旅行、海外旅行に伴う分野別支出額、基本属性（性・年齢・職業等）など
- ⑤調査時期／令和7年（2015年）11月下旬～12月上旬

③調査結果 概括

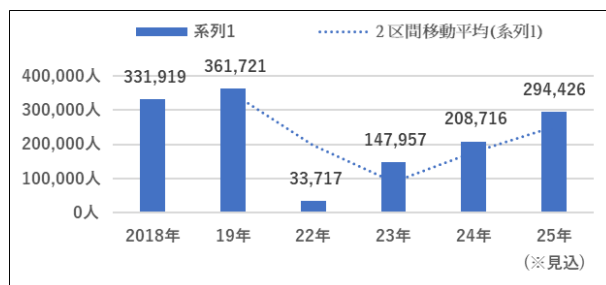
■道外旅行者数（推計）

| | 合計 | 道央圏 | | 道南圏 | 道北圏 | オホーツク圏 | 十勝圏 | 釧根圏 | 全道 |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|-----------|
| | | ・札幌市 | ・他の道央 | | | | | | |
| 総数 | 840,279 | 595,580 | 244,699 | 116,469 | 147,757 | 51,669 | 88,010 | 57,513 | 1,301,696 |
| 旅行率 | 30.0 | 35.3 | 22.0 | 34.0 | 30.7 | 23.3 | 32.0 | 24.0 | 29.9 |

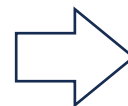
■海外旅行者数（推計）

| | 合計 | 道央圏 | | 道南圏 | 道北圏 | オホーツク圏 | 十勝圏 | 釧根圏 | 全道 |
|-----|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| | | ・札幌市 | ・他の道央 | | | | | | |
| 総数 | 325,565 | 269,951 | 55,613 | 27,404 | 12,995 | 5,987 | 18,427 | 11,263 | 401,641 |
| 旅行率 | 11.6 | 16.0 | 5.0 | 8.0 | 2.7 | 2.7 | 6.7 | 4.7 | 9.2 |

参考：北海道民の海外旅行人数



資料：法務省出入国管理統計「居住地別海外出国者数」 2025年は独自推計



全道の海外旅行者数を29万人と下方修正

(7)付帯調査 道民の道外・海外旅行動向調査

③調査結果

■経済効果の推計に投入する需要額整理

■道外旅行分

| | 札幌市 | 他の道央圏 | 道南圏 | 道北圏 | 十勝圏 | オホーツク圏 | 釧根圏 | 全道計 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|-----------|
| サンプル数 | 150人 | 100人 | 150人 | 150人 | 150人 | 150人 | 150人 | 1,000人 |
| 旅行率 | 35.3% | 22.0% | 34.0% | 30.7% | 23.3% | 32.0% | 24.0% | 29.9% |
| 旅行人数 | 595,580 | 244,699 | 116,469 | 147,757 | 51,669 | 88,010 | 57,513 | 1,301,696 |
| 航空券 | 43,358 | 52,636 | 37,196 | 37,870 | 59,257 | 54,691 | 47,848 | 46,449 |
| 航空券* | 4,336 | 5,264 | 3,720 | 3,787 | 5,926 | 5,469 | 4,785 | 4,645 |
| 鉄道 | 8,804 | 13,816 | 12,529 | 5,852 | 4,463 | 3,354 | 4,736 | 7,445 |
| クルマ | 6,722 | 6,717 | 3,157 | 5,609 | 7,966 | 6,917 | 3,103 | 5,655 |
| 前泊 | 0 | 0 | 5,422 | 3,146 | 3,514 | 6,604 | 5,517 | 3,984 |
| 前泊に伴う飲食 | 0 | 0 | 786 | 1,409 | 886 | 2,675 | 1,231 | 1,095 |
| お土産 | 4,455 | 5,657 | 6,451 | 8,804 | 6,600 | 5,667 | 5,875 | 6,217 |
| 旅行用品 | 1,864 | 2,427 | 1,679 | 684 | 707 | 1,020 | 733 | 1,269 |
| 他の旅行 | 1,332 | 737 | 509 | 524 | 500 | 622 | 209 | 659 |
| バック旅行マージン | 5,783 | 4,318 | 1,451 | 4,848 | 2,200 | 4,979 | 1,917 | 3,723 |
| 支出額合計 | 33,295 | 38,936 | 35,703 | 34,662 | 32,761 | 37,307 | 28,105 | 34,691 |
| 総需要 | 198億円 | 95億円 | 42億円 | 51億円 | 17億円 | 33億円 | 16億円 | 452億円 |

■海外旅行分

| | 札幌市 | 他の道央圏 | 道南圏 | 道北圏 | 十勝圏 | オホーツク圏 | 釧根圏 | 全道計 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|---------|
| サンプル数 | 150人 | 100人 | 150人 | 150人 | 150人 | 150人 | 150人 | 1,000人 |
| 旅行率 | 16.0% | 5.0% | 8.0% | 2.7% | 2.7% | 6.7% | 4.7% | 9.2% |
| 旅行人数 | 194,915 | 40,155 | 19,787 | 9,383 | 4,323 | 13,305 | 8,132 | 290,000 |
| 航空券 | 56,855 | 57,969 | 175,833 | 242,500 | 212,500 | 28,000 | 135,000 | 103,172 |
| 航空券* | 5,686 | 5,797 | 17,583 | 24,250 | 21,250 | 2,800 | 13,500 | 10,317 |
| 鉄道 | 5,658 | 2,820 | 4,792 | 10,750 | 10,000 | 3,500 | 15,714 | 6,597 |
| クルマ | 3,446 | 7,880 | 3,817 | 6,250 | 9,125 | 8,500 | 4,357 | 5,226 |
| 前泊 | 0 | 0 | 13,667 | 5,500 | 3,750 | 501 | 11,571 | 15,193 |
| 前泊に伴う飲食 | 0 | 0 | 6,250 | 3,375 | 2,000 | 1,000 | 4,786 | 15,707 |
| お土産 | 35,306 | 52,601 | 10,167 | 7,500 | 11,250 | 9,000 | 6,043 | 21,813 |
| 旅行用品 | 4,545 | 8,248 | 2,750 | 1,238 | 1,238 | 1,320 | 3,866 | 3,538 |
| 他の旅行 | 7,501 | 72,831 | 885 | 165 | 3,465 | 825 | 839 | 8,840 |
| バック旅行マージン | 15,625 | 0 | 11,667 | 8,750 | 19,750 | 8,500 | 13,571 | 12,258 |
| 支出額合計 | 77,766 | 150,177 | 71,577 | 67,778 | 81,828 | 35,946 | 74,248 | 99,488 |
| 総需要 | 152億円 | 60億円 | 14億円 | 6億円 | 4億円 | 5億円 | 6億円 | 247億円 |

- 「各分野における支出額」をそのまま、経済効果の推計に投入できるものではない。
- 例えば、航空券購入費は「全額が道内に留保」されるものではない。
- また、道外旅行に伴って新たに購入した衣服も、旅行後には日常の衣服として用いられることを考慮しなければならない。
- これらを考慮し、経済効果算出には次の方針で計上した。
 - 航空券購入費／道内事業者に還流するマージンとして支出額の10%のみ計上
 - 前泊宿泊費・前泊に伴う飲食費／道央圏においては新千歳空港利用時の「前泊」は想定しにくいことから計上しない
 - 旅行用品・他の旅行関連支出／上述のように、日常消費の範疇におかけられるべきものを考慮し、支出額の1/3を計上する
 - バック旅行代金／道内旅行会社等の事業者に還流するマージンとして支出額の10%のみ計上された各圏域の規模を反映した全道の値となる。

①道外旅行に係る支出額

- 全道平均で支出単価は34,691円。
- 旅行者数をふまえた総需要額は約452億円と推計される。

②海外旅行に係る支出額

- 全道で約37.8万人と推計された。海外旅行率は8.7%である。
- 前ページの「海外旅行者数の検証後」の海外旅行者数を計29万人とした場合、最多は札幌市（26.1万人）で、最少は十勝圏（0.4万人）となる。
- 旅行者数をふまえた総需要額は約247億円と推計される。

観光経済波及効果 「道内容・その他」へ投入

(8)消費動向

| | 道内客 | 道外客 | 外国人 | | | |
|--|---|---|---|---------------|--------|--------|
| ①道内消費額 | <p>【日帰客】 娯楽サービスの減少が大きいが、消費総額は昨年並み。 【宿泊客】 娯楽サービス、交通費が減った。総額では5%の増。</p> | <p>【宿泊客】 買い物の抑制が目立ったが、宿泊費は2割ほど増えた。総額では約5%増となった。</p> | <p>宿泊費、買い物代の減少が目立ち、娯楽サービスは大きく増加したものの、総額では8%程度の減少となった。</p> | | | |
| <p>■平均支出額（分野別と合計欄が一致したサンプルのみによる集計）</p> | | | | | | |
| | 道内客 | | 道外客 | | 外国人客 | |
| | 日帰り | 宿泊 | 日帰り | 宿泊 (道外客全体) | | |
| 25年度 | 集計サンプル数(件) | 595 | 512 | 4 | 1,122 | 1,126 |
| | 消費額合計(円) | 6,322 | 35,724 | 10,625 | 91,024 | 90,738 |
| | ①交通費 | 2,206 | 7,421 | 2,500 | 18,570 | 18,513 |
| | ②宿泊費 | 0 | 14,892 | 0 | 30,540 | 30,432 |
| | ③飲食費 | 2,073 | 7,891 | 4,000 | 23,803 | 23,733 |
| | ④買物代 | 1,730 | 4,457 | 3,750 | 13,074 | 13,041 |
| | ⑤娯楽等サービス費 | 314 | 1,007 | 375 | 4,747 | 4,731 |
| ⑥その他 | 0 | 56 | 0 | 289 | 288 | |
| 24年度 | 集計サンプル数(件) | 544 | 496 | 6 | 1,227 | 1,233 |
| | 消費額合計(円) | 6,308 | 34,181 | 13,500 | 86,801 | 86,444 |
| | ①交通費 | 2,254 | 8,631 | 4,500 | 20,183 | 20,107 |
| | ②宿泊費 | 0 | 13,187 | 0 | 25,226 | 25,103 |
| | ③飲食費 | 1,963 | 6,747 | 6,833 | 20,896 | 20,828 |
| | ④買物代 | 1,719 | 4,348 | 1,667 | 14,890 | 14,825 |
| | ⑤娯楽等サービス費 | 362 | 1,263 | 500 | 5,182 | 5,159 |
| ⑥その他 | 10 | 5 | 0 | 424 | 422 | |
| 増減率 | 消費額合計(P) | 0.2 | 4.5 | ▲21.3 | 4.9 | 5.0 |
| | ①交通費 | ▲2.1 | ▲14.0 | ▲44.4 | ▲8.0 | ▲7.9 |
| | ②宿泊費 | - | 12.9 | - | 21.1 | 21.2 |
| | ③飲食費 | 5.6 | 17.0 | ▲41.5 | 13.9 | 13.9 |
| | ④買物代 | 0.6 | 2.5 | 125.0 | ▲12.2 | ▲12.0 |
| | ⑤娯楽等サービス費 | ▲13.4 | ▲20.3 | ▲25.0 | ▲8.4 | ▲8.3 |
| | ⑥その他 | ▲100.0 | 1048.1 | - | ▲31.9 | ▲31.8 |

注)各単価は小数点以下を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合がある。

| | |
|--------------------------------|--|
| ②経済波及効果 (令和7年9月観光入込客数確定後推計) | <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度の観光総消費額は1兆4,892億円（道内客で4,301億円・この他に道民の道外旅行分340億円がある）、道外客で4,792億円、外国人観光客で5,102億円）となり、昨年度（1兆5,033億円）を141億円下回った。 なお、「道内・その他」の消費額を除くと1兆4,194億円で、昨年（1兆4,693億円）比499億円の減となる。 道内の観光関連消費額1兆4,892億円がもたらす経済波及効果（生産誘発額）は1兆9,480億円となり、昨年（1兆9,588億円）から100億円程度減少した。（国内観光入込客数の停滞と外国人の消費減） 観光消費により発生する「直接効果」は1兆900億円、さらに道内の生産やサービス活動に波及する「第一次波及（間接）効果」は5,472億円となる。また、新たな雇用者所得等の増加によって生み出される「第二次波及（間接）効果」が3,109億円と推計される。 <i>（詳細は本編「観光経済効果」をご参照ください）</i> |
|--------------------------------|--|